

令和4年度 苫小牧市立美園小学校グランドデザイン

法体系が示す理念的人間

- ・ 人格形成
- ・ 新学習指導要領の趣旨（豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成、基礎基本の確実な定着）

子どもの実態

- 学習や生活のきまりを守っているという意識が高い。
- ●自分の仕事を意欲的に取り組むが、主体的に考えて取り組むことが苦手である。
- 自己有用感や自己肯定感が低いのが課題である。
- 「学年×10分+10分」の家庭学習の定着とメディア利用時間の見直しによる生活リズム確立が必要である。

おもな学校行事

- ・ 参観日
- ・ 運動会
- ・ かたつむり文化祭
- ・ 遠足（全学年）
- ・ 宿泊学習（5年）
- ・ 修学旅行（6年）
- ・ 避難訓練（火災、地震・津波）
- ・ 交通安全教室
- ・ 防犯教室
- ・ インターネット教室
- ・ スケート学習
- ・ 生活リズムがんばり週間

教育目標

創造性に富み 情操豊かで 気力にみちた子を育てる

児童のめあて

- 自分の考えをみつけ、さらに深めよう
- 自分にきびしく、ひとにやさしくしよう
- ねばり強く やりとげよう

自己有用感

教師の指標

- アップデートを怠るな！
～教職員として 社会人として 人として～

めざす学校像

みんな そろって のびゆく 美園小学校

学校課題

自分の良さや可能性を認識し、他者を尊重しながら協働することのできる児童の育成

- ・ 「自立」と「共生」の理念
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」から「主体的・対話的で深い学び」

学校経営の基本方針

- (1) 学びの向上と喜びを子どもたちに提供できる学校をつくる
- (2) 保護者や地域社会と確かな信頼関係に基づいた、共に育ち合う学校をつくる
- (3) 高い協働意識が経営の根幹にある学校をつくる（チーム美園）

何ができるようになるのか
(育成する資質能力)

何を学ぶのか
(教育課程の編成)

どのように学ぶのか
(教育課程の実施方法)

何が身に付いたのか
(評価)

児童
保護者
に
地域
分
かり
やす
く
提
示

経営の重点

- (1) 連携・分担による学校マネジメントの実現（組織的で活力のある学校）
- (2) これまでとこれからの最適な組み合わせの実現
- (3) 感染症や災害発生等を乗り越えての学びの保障
- (4) 社会構造の変化の中で持続的で魅力のある学校教育の実現

分散型リーダーシップ

新しい時代の学びと働き方を根幹に据えた令和型の経営

働き方改革、コンプライアンス遵守を基軸として

社会・教育界の動向

- ・ 少子高齢化、グローバル化、情報化などによる急激な社会の変化
- ・ 主体的・対話的な深い学び
- ・ 学校の組織的な対応

保護者の願い

- 各教科における学力の定着を図ってほしい。
- 思いやりのある豊かな人間性を育ててほしい。
- 主体的に他者と関わり合えるコミュニケーション能力を身に付けてほしい。
- 「知」「徳」「体」がバランス良く育ててほしい。
- 安全で安心できる学校であってほしい。

よくわかる美園小学校

学校教育力向上エリア会議

<学力向上部会>

- ・ 「3校合同の学習指導」の検討・発行
 - ・ 3校による相互授業公開
 - ・ 学力調査の分析等の共有
 - ・ ICT活用状況の交流
- #### <特別支援部会>
- ・ 授業交流・事例研修の実施
 - ・ 幼保-小、中-高の接続と連携
- #### <生徒指導部会>
- ・ 不登校児童生徒の実態の交流
 - ・ IT機器の利用に関する情報交流
 - ・ 校外生活のきまりについて交流

今年度の重点取組事項

確かな学力の定着を目指した学習指導の充実

- ・ 授業改善～焦点化・イメージ化・視覚化・振り返りの充実
- ・ 1人1台端末の効果的な活用

研修の推進

- ・ アンケート「授業が分かる」85%以上
- ・ アンケート「週に2回以上タブレット活用」80%以上

特別支援教育の充実

- ・ 一人一人のニーズに応じた指導や支援（通級指導教室の充実）
- ～個別の支援計画、個別の指導計画に基づいて～
- ～適切な交流及び共同学習の展開

ダイバーシティ

- ・ アンケート「個に応じた支援を行っている」85%以上

いじめ・不登校、児童虐待等への対応

- ・ 望ましい人間関係を築く力の育成
- ～いじめの積極的な認知、不登校児童への初期対応～
- ～情報モラルの向上及び道徳教育の充実

教育相談の充実

- ・ アンケート「相談する時間確保」90%以上
- ・ アンケート「タブレット活用いとお探し」80%以上

SDGsと関連付けた教育課程の編成

～子どもたちが生きる未来社会のために～

成年年齢まであと6年間

子どもたち一人ひとりが期待して登校し満足して下校する安全・安心な学校
「自信」「体調」「冷静」「集中」〔4C〕+「伝え合う」「組織体」〔2C〕

健やかな体の育成

- ・ 基本的な生活習慣の確立～メディアコントロール
- ・ 体力づくりの充実～新体力テスト、どさん子元気アップチャレンジ
- ・ 望ましい食習慣の定着～栄養教諭を中核とした食育（アレルギー含む）

7つ化物洗口

- ・ 体力テスト「立ち幅跳び」「反復横跳び」全国平均以上
- ・ アンケート「早寝・早起き・朝ごはん」80%以上
- ・ アンケート「中休み・昼休み等で外遊び」80%以上

地域への愛着と誇りを育む教育の展開

- ・ ふるさと教育の推進～地学協働「いぶり五大遺産」
- ・ 多様な人材活用～出張授業や体験的な学習

ウホボー等

きんれん花

- ・ アンケート「外部人材・地域に出向いた授業」85%以上

学びをつなぐ学校づくりの実現

- ・ 苫小牧オール9（ナイン）の深化
- ・ 開設保育園との連携～生活科、総合的な学習の時間、特別活動、行事等
- ・ 地域とともにある学校づくり～保護者・地域社会への情報発信強化

CS導入準備

- ・ 「公募やコンテストに積極的に参加」年10件以上
- ・ アンケート「みその保育園や中学校と交流」80%以上
- ・ アンケート「学校の取組や子供の様子を積極的に伝えていく」85%以上